



第41号

# 砂防トピックス 青森

青森県河川砂防課 編集・発行（令和3年2月）

## 一般財団法人 砂防・地すべり技術センターによる技術指導

県では、既設の砂防堰堤における施設機能の向上を図ることを目的とした、流木対策や緊急改築事業などの実施にあたり、令和2年度より一般財団法人砂防・地すべり技術センターから職員を現地へ招いて設計に関する技術指導をしていただきました。

令和2年度は<sup>ろくじょうまさわ</sup>六條間沢（外ヶ浜町）、<sup>かみならさきさわ</sup>上七崎沢（八戸市）、<sup>だい1しょうぶさわ</sup>第1菅蒲沢（八戸市）、<sup>おもさわ</sup>オモ沢（十和田市）、<sup>なかうたるへさわ</sup>中宇樽部沢（十和田市）、<sup>しもやまやさわ</sup>下山屋沢（十和田市）及び<sup>うがいさわ</sup>嗽沢（中泊町）の計7箇所で行いました。

今後についても、適宜、技術指導をいただきながら堰堤の施設機能の向上を図るとともに、職員等の砂防に対する技術力の向上に努めていきたいと思っております。



<sup>ろくじょうまさわ</sup>  
六條間沢（外ヶ浜町）



<sup>かみならさきさわ</sup>  
上七崎沢（八戸市）



<sup>おもさわ</sup>  
オモ沢（十和田市）



<sup>うがいさわ</sup>  
嗽沢（中泊町）

## 雪崩防災教室

青森県では、平成8年度より、12月1日から7日までの「雪崩防災週間」に、雪崩災害に対する基礎知識の習得と、防災意識の向上を図る目的で、県内の小学生を対象に雪崩防災教室を開催しています。

今年度は、12月1日（火）に深浦町立深浦小学校で開催しました。児童の皆さんには雪崩災害の恐ろしさ、雪崩の基礎知識とその対策、及び小学校周辺の雪崩危険箇所について勉強していただきました。

児童代表からは「学校のまわりにこんなに雪崩危険箇所があると思わなかった。」、「雪崩という言葉は知っていたが、どんな現象が起こるのか知らなかった。防災教室で雪崩の怖さを学ぶことができた。」などの感想をいただきました。



雪崩防災ビデオに集中する児童



雪崩防災資料を用いた説明

## 出前トーク

11月26日（木）に中泊町役場にて「土砂災害から身を守るために（住民の皆様へやっていただきたいこと）」というテーマで、講義形式による出前トークを実施しました。

講義後のアンケートでは、「大変参考になった。」などの意見を多くいただきました。今後も、住民の方々に土砂災害の危険性や避難の方法などについて理解を深めていただけるように、出前トークなどを通じた積極的な周知活動に努めていきたいと思っております。



講義資料を用いた説明



講義中の様子

## 砂防ボランティアによる活動

青森県砂防ボランティア協会（加藤清和代表）では、下記の活動を行いました。

### 【ヤマメ放流支援と魚道清掃及び砂防施設点検】

北津軽郡中泊町「<sup>たきのさわ</sup>滝ノ沢ふるさと砂防愛ランド」の<sup>ふかやざわ</sup>深谷沢砂防堰堤魚道周辺にて、「子供達と共に夢を創る会」が主催するヤマメ放流会が6月23日（火）に開催されました。

当日は中里小学校3年生による5000匹のヤマメの稚魚放流のほか、河川砂防課職員からの防災教育や、砂防ボランティア協会員による砂防施設の点検を行いました。

防災教室では、土砂災害を防ぐ施設や避難の方法などについて小学生にもわかりやすいようにイラストを用いて説明を行いました。



### 【蔵助沢砂防公園清掃・施設点検】

弘前市百沢にある岩木山神社周辺の<sup>くらすげざわ</sup>蔵助沢砂防公園にて、公園清掃・施設点検を7月17日（金）に実施しました。

当該地域では、昭和50年8月6日未明に土石流災害が発生し、死者22名、重軽傷者31名の甚大な被害が発生しています。

これからも、過去の災害を忘れずに、周辺環境に配慮しつつ砂防堰堤等の施設整備・維持管理に取り組んでいきます。



### 【滝ノ沢川イワナ産卵床維持管理活動】

外ヶ浜町の<sup>たきのさわ</sup>滝ノ沢川砂防ダム下流にてイワナ産卵床の維持管理活動を10月2日（金）に実施しました。

滝ノ沢川砂防ダム下流に設置したイワナ産卵床が、洪水時の土砂流入により一部が埋塞するため、対策として平成22年度より継続して維持管理活動を行っています。

これからも、良好な河川環境を保つためにもイワナ産卵床の維持管理に取り組んでいきます。



## 土砂災害危機管理研修会の開催について

本格的な降雨シーズンを迎える7月27日から29日の3日間、青森市内で「土砂災害危機管理研修会」を開催しました。この研修会は、土砂災害に対して、市町村が万全な警戒避難体制をスムーズにとり、迅速かつ確実に避難勧告等を発令できるよう支援することを目的としています。参加対象は、土砂災害危険箇所又は土砂災害警戒区域等を有する38市町村（土砂災害警戒情報発表対象市町村）の防災担当職員であり、計30名の参加がありました。近年、毎年のように甚大な被害を伴う豪雨が発生していることもあり、参加者は全員、真剣な表情で研修会に参加していました。

研修会では、土砂災害に関する基本的説明のほか、各種防災気象情報の収集・活用方法や警戒避難の考え方、平常時からの検討事項などについて説明した後、各自がパソコンを操作し、青森県土砂災害警戒情報システム等を利用したシミュレーション演習を実施しました。

研修後のアンケートでは、「シミュレーション演習を体験できるのが大変良かった。」という感想を多く頂きました。今後も研修会を通して、積極的に市町村の支援を行いながら、土砂災害による人的被害の軽減に結び付けたいと考えています。



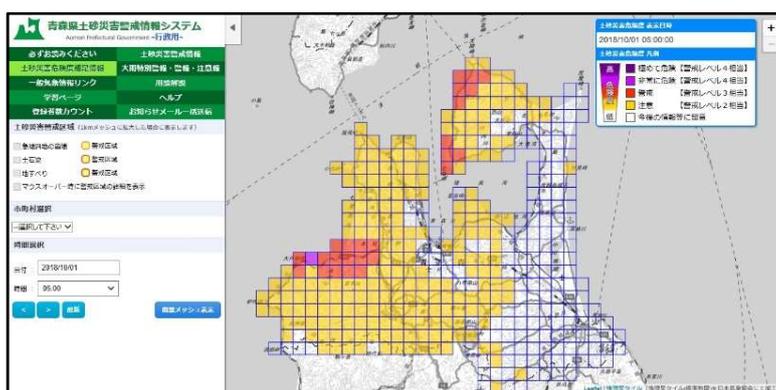
説明状況



シミュレーション演習を実施中の参加者



真剣な表情で受講中の参加者



土砂災害警戒情報システム

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 青森県河川砂防課内 TEL017-734-9670/FAX017-734-8191

河川砂防課ホームページ：<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/>

E-mail：[kasensabo@pref.aomori.lg.jp](mailto:kasensabo@pref.aomori.lg.jp)